

## 全員参加ディスカッションについて

・ 今回の勉強会の最後は、全員参加で小さなグループを作ってみんなでディスカッションを行います。



#### ディスカッションテーマ

- テーマは、「何か作ろう」です。
- 作るものはなんでもかまいません(ライブラリ、アプリケーション)。
- より良い設計のディスカッション、デザインパターン、C++はこうあるべき、今後のC++を考える等、終始ディスカッションに励んでもらってもかまいません。
- ディスカッションのテーマは各テーブルで違ってかまいません。

### ディスカッションの形式

- ・テーブルは、30分ごとにシャッフルします。
- 各テーブルでのディスカッション終了時に、 テーブルの誰か一人がそのテーブルに残っても らいます。
- テーブルホルダーは、シャッフルでやってきたメンバに、これまでのディスカッションの内容を説明し、その上でディスカッションを発展させていってください。
- 最後のシャッフルで、全員が最初のテーブルに 戻ります。テーブルホルダーの方は、発展した ディスカッションの内容を他のメンバに説明し てあげてください。

## 結論の出し方

このディスカッションでは、テーブルごとに結論を出してもらうことを求めません。個人が抱えていた考えを、他の人と共有することで発展させることが目的です!



# テーブルのシャッフル方法

- ・規定はしませんが、あまり話したことのない人のテーブルに着くことをおすすめします。見知った仲の人とのディスカッションでは、自分の考えと限りなく近い結論にすぐにまとめってしまう可能性が高いからです。
- いるいろな考えの人と意見を交わしてみてください。



このディスカッション手法は、ワールドカフェを参考にしています。気になる方は調べてみてください。

http://www.humanvalue.co.jp/service/wcafe/

